



やけ



やけ



令和4年

12月21日(木)

【その13】

いよいよ2学期も大詰めを迎えました。2022年も残すところあと10日です。中学校生活最後の冬休みを迎える前に、仲間たちと過ごした充実の2学期を振り返ってみましょう！あなたの2学期は、どんな日々だったのでしょうか…？



『頑張ったこと』

僕が2学期になって頑張ったことは、日々の勉強です。

僕は2学期の最初に書いた抱負で、自習を頑張りたいと書きました。その理由は、2学期からはより本格的に受験勉強に取り組む期間になっていくからです。また、一学期では勉強をしない時間が少し多かったので、2学期では改善したいと思いました。2学期では、毎日勉強の時間を作って、集中して取り組むことができました。定期考査では、今までより高い点数を取ることができました。僕は、なぜ2学期ではこのように勉強できたかを考えました。原因は夏休みだと思います。夏休みの期間では、今までの夏休みの倍くらいの時間、勉強することができました。そのため、勉強の習慣をつけることができ、2学期でも集中して取り組めたと思います。

冬休みでは、このまま継続して勉強して、入試までの約二ヶ月を全力で頑張りたいです。

A 組

●「夏休みの時間の使い方が、ひとつの大きな転機になったようですね。大切な2学期を迎えるにあたって、勉強の習慣づけができたことは本当に良かったですね」

『2学期を振り返って』

2学期を振り返って一番思い出に残っていることは、やはり合唱祭です。中学校に入學し、最初で最後の合唱祭でした。そのため、3年生全体が一致団結し成功させたいという思いで練習に取り組む姿がありました。

私は、パートリーダーとしてアルトパートをまとめていました。B組の自由曲は少し難しく、パートのみんなは音程を掴むことに必死でした。パートリーダーとしてみんながもっと上達する練習がしたいと考え、CD練習のときにあえて他のパートの音を流してつられないようにしたり、他のパートリーダーと協力して練習メニューを考えたりと、自分なりのリーダーシップをとることができたと思います。また、本番が近づくにつれてなかなか意見を出してくれなかった人が意見を言ってくれたり、いろいろな先生方がアドバイス



をくださったりと、心が一つになったことがとても嬉しかったです。

新型コロナウイルスの影響で、2年間今までの先輩方が築き上げてきた伝統が途切れてしまいました。しかし、新校舎でまた全校で新たな伝統を築き上げることができ良かったと思います。また、その伝統の創り手の一人になれたことをとても誇らしく思います。

B 組

③「3年生になって初めて経験した合唱祭、手探りの状況でもみんなで協力し合って前向きに取り組んでいましたね。3年分の思いがたっぷりつつまった行事になりました」

『二学期を振り返って』

私はとても充実した学期になったと思った。テストや合唱祭など、個人やクラスのこと沢山ある学期だったと感じた。

テストでは、受験に向けて一つでも内申を上げよう、良い点に向けて努力しようと、自分自身の中で高いモチベーションをもち、取り組むことができた。中でも数学や理科などの苦手な科目にも積極的に勉強をして、結果を出すことができた。

合唱祭では、クラス全員で優勝に向けて練習したことは、かけがえのないものになった。合唱をより良いものにしようと、全員が真剣になり取り組んでいる姿が見られた。最後の最後まであきらめず、合唱したことは今でも忘れられない。

私はこの二つの行事から大切な思い出と、これからの人生において支えとなる努力の大切さを知れた。この二学期は、私のことを成長させてくれたと思った。

C 組

③「学習に行事にと、充実した学校生活が送れたそうですね。自分で立てた目標に向かって地道に粘り強く努力することで、かけがえのないものを手に入れましたね」

『二学期を振り返って』

二学期で印象に残っていることは合唱祭です。三年ぶりに行われたことへの喜びもありましたが、それ以上に初めての合唱祭に最高学年として挑むことへの不安、プレッシャーが大きかったです。しかし、クラスでより声を出せるように発声練習も兼ねてあいさつ運動をするなど、みんなで協力したことで素晴らしい合唱祭になりました。

合唱祭が終わると、二学期も後半になり本格的に受験勉強をするようになりました。特に期末考査では、これで入試の三割はほぼ決まってしまうという思いから、今まで以上に勉強に力を注ぎました。その結果、自分の目標点を全て越えられました。

このように、二学期は行事と受験勉強の切り替えの時期でした。「進路は補欠なき団体戦」として、これからの入試までに残された時間も、仲間と全力投球していきたいと思います。

D 組

③「行事などの学校生活も、進路選択にかかわる受験勉強も、自分の人生においてはどちらも大切な意味をもっていますね。二学期は、その両方に力を注げた学期でしたね」

『2022年振り返り』

受験生という立場になったことが、私の中で一番大きく変わったと思う。今までは、あまり自分の将来のことについて考えたことは少なかったが、三年生になって受験生としての自覚が芽生え、進路と向き合うようになった。「高校受験がゴールではない」という言葉をよく聞くようになり、高校に入ってから自分の進路についても考える時間が増えた。受験勉強は大変だと考えていたが、その先にある楽しい高校生活を送りたいという気持ちが、月日が経つにつれより大きくなっていった。受験のために休んでいる習い事に、早く復帰したいという思いも強かった。そして、改めて自分の目標というものが分かり、その目標に向かって努力をし、絶対に自分の夢を叶えたいと思った。

どんなに辛くても、あきらめずに自分の目標に向かってこれからも走り続けたいと思う。

A 組

- 「進路選択という取組の中で、とても大切なことに気づいたようですね。今はやりたいことを我慢してでも、夢を叶えようとしている姿に強い決意を感じますね」

『二学期を振り返って』

私が二学期に印象的だったのは、合唱祭とE S A T-Jです。

今回の合唱祭は、私たちが中学校生活三年間で初めて行う合唱祭だったので、三年間の思いもあり、より思い出に残ったからです。文化行事委員の二人が先頭に立ち、みんなのことを導いていてとても頼もしく感じました。意見が割れたりしても二人がまとめてくれたり、クラスの全員で歌い優勝できたことなどがあったので、より印象に残りました。また、今学校にいる生徒が初めて行う合唱祭だったので、みんな同じ立場、同じ目線でできていたので、1～3年生みんなが心を一つに頑張っていくことができたと思います。

次にE S A T-Jです。これは学校生活とは関係ありませんが、二学期で初めての受験型のものだったので緊張したので深く印象に残っており、本番も「このような緊張なんだなぁ」と実感したり、こうならないためなど考えるための対策になったと思いました。

最後に、二学期を振り返ってみて行事が少なく、進路、受験のあれこれが増えてきたなと思いました。これからも増えていくと思うので、勉強を頑張りコツコツやっていきたいと思います。

B 組

- 「E S A T-Jは、外部の会場に出向くというあまり経験したことのない形式だったので、緊張感がありましたね。こういうことの積み重ねで様々な力がついていくのですね」

私が二学期に頑張ったことは受験勉強です。

この経験を通して、「為せば成る」という言葉は本当だったのだと実感することができました。勉強していないときは結果が出なかったけれど、勉強をするようになってからは、勉強することの楽しさや大切さに気づくことができるようになりました。合格発表の日に、結果がどうであれ「やり切った」と思えるように、残りの二か月を大切にしていきたいです。

👤「模試の結果に直面したことが自分を見直すきっかけとなり、そのあとの決意につながることができましたね。本気のスイッチが入ったことで、大切なことに気づけましたね」

私は、良いことを続けると必ず結果はついてくると信じているので、これからも続けていきます。

🎤「合唱祭練習のときにあいさつ運動は妙案でしたね。声出しの意味もさることながら、クラスの団結に大きな力となりましたね。まさに、“継続は力なり”ですね！」

🍷「実りの多かった2学期はもう終わりじゃ！来年2023年は、いよいよ新たなる世界への旅立ちの年じゃな。赤学年全員にとって、素晴らしい年になりますように…」